

京都工芸繊維大学 繊維科学センター

平成 29 年度ネオファイバーテクノロジープロジェクト研究報告会

繊維科学センターでは、本学が蓄積してきた繊維科学・工学分野での研究と教育の実績を引き継ぎ発展させる事業を展開させ、新繊維科学・工学体系の確立、すなわち「ネオファイバーテクノロジーの創出」をスローガンに、深みのある繊維文化の醸成に大いに寄与してきました。また、本学の多様な教育研究分野の第一線で研究を展開する多くの研究者の連携を促し、あらゆる分野で不可欠な存在となっている繊維素材の一層の高機能化と新機能開発を目指す、Future Fiber & Textile Technology Initiative (FTI) 構想を推進いたします。その一環として、補助事業を展開しています。本研究報告会では、補助事業に採択された方々にその成果を発表していただきます。どなたでもご参加いただけます。たくさんのご参加をお待ちしています。（事前申込不要）

日 時 : 2018 年 3 月 16 日(金) 13:00-16:20

場 所 : 京都工芸繊維大学 西部構内 ベンチャーラボラトリー1 階ラウンジ

【プログラム】

- 13:00-13:05 開会の辞
繊維科学センター長 佐久間淳
- 13:05-13:30 再生セルロース繊維の高機能化へ向けた
セルロースコンフォメーション制御可能性の検討
繊維学系 綿岡 勲
- 13:30-13:55 Flame Retardancy and Thermo-oxidative Mechanism of Cotton Fabrics
材料化学系 坂井 互
- 13:55-14:20 液状結晶化促進核剤添加によるポリ L 乳酸繊維の結晶化性能の
飛躍的向上をめざした研究
繊維学系 櫻井伸一
- 14:20-14:45 セグメント化された PLLA/PDLA ブレンド溶融紡糸繊維の
ステレオコンプレックス形成
繊維科学センター 山本真揮
- 14:45-15:00 休憩
- 15:00-15:25 細胞採取器具における繊維材料の形状および機能性評価とその開発
神戸女子大学 森野ひとみ
- 15:25-15:50 美術工芸資料館蔵染織関連資料からみる幕末から明治期の
欧州産プリント裂事情
美術工芸資料館 並木誠士
- 15:50-16:15 次世代スマートテキスタイルの創造と標準化
繊維学系 奥林里子
- 16:15-16:20 閉会の辞
繊維科学センターエデュケーション室長 奥林里子